

令和7年 6月11日

保護者の皆様へ

人間環境大学附属岡崎高等学校

校長 横山 博文

「花便り」 第4号

入梅の候、保護者の皆様におかれましては、ご清栄のことと存じ上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

6月は、私の中では百合の花、なかでも鉄砲ユリの真っ白な花とほのかに甘い香りが大好きです。今でこそ、カサブランカをはじめとする抜群の香りを放つタイプと、鬼ユリから品種改良された色とりどりのユリ科の花を楽しむことができますが、昭和のころはユリと言えば鉄砲ユリだったように思います。今は亡き育ての母親がこの鉄砲ユリが大好きで、小学生の頃、よくこの母と咲き終わった後のゆり根を掘り起こし株分けをして、翌年に増えた花の数を数えて一緒に大喜びしていました。母の喜ぶ顔が懐かしく思い出されます。6月になると、ユリの花の記憶と共に、母の記憶もよみがえります。

さて、前号から後の学校の流れを振り返ると、5月30日（金）は、明け方までの雨が嘘のようにあがり、無事に体育大会を開催することができました。多くの保護者の皆様にも応援頂くことができたとともに、PTAの役員の皆様には救護のお手伝いを頂き、本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。生徒も前日祭と当日の競技を、精一杯楽しんでいました。閉会の挨拶の後、互いの健闘を称え、全校生徒に呼び掛けた拍手の音が、いつまでも龍北総合運動場のスタンドに鳴り響いていました。生徒全員のエネルギーと迫力に終始圧倒された、感動の日でした。生徒の皆さん、ありがとう。

6月9日（月）7限目の全校集会では、1学期に体育館で生徒と対面で行うことができる集会がこの日が最後であったこともあり、表彰式の後、私からは特に3年生の生徒の皆さんに向けて次のように話かけました。

「全校生徒の皆さん、体育大会と前日祭、立派にやり遂げることができました。大変すばらしかったです。今年度の大きな行事の一つが、無事終わりました。楽しい行事が終わると、何となく寂しい気がしてしまいます。特に3年生の皆さんにとっては、一つ一つの行事が「高校生最後の」、という前置詞がつきます。もっと言えば、一日一日が二度とこない、高校生最後のかけがえのない一日です。そんなことも少し頭の隅に置きながら、一つ一つの行事に、今日という一日に、向き合うようにしてみてください。」

これから後は、1学期も後半です。時の経過の容赦ない速さに負けないよう、学校を、生徒の皆さんの気持ちを盛り上げていきたいものです。保護者の皆様におかれましても、梅雨空とお子様のわがままに負けないよう、ご自愛ください。